

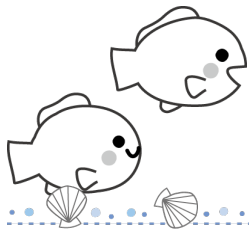


所沢市民放射線測定室「とこらぼ」ニュースレター2022年8月

発行:とこらぼ運営委員会

メールアドレス tokolabo2013@gmail.com ホームページ <http://children-foundation-t.jimdo.com/>

Facebook <http://www.facebook.com/tokorozwahousyasensokuteijo>



いつもとこらぼにご支援いただき、ありがとうございます。今回から小豆川（しょうずがわ）先生の連載が始まりました。数値から事実を冷静に分析する目と、未来への熱い思いを持つ先生のお仕事に、いつも力をもらっています。とこらぼも先生の助けも借りながら、測定活動をはじめ、学習会や講座を続けていきます。今後もお力添えをよろしくお願いいたします。

【とこらぼのつぶやき】

玄米、白米、米ぬか、粳穀、玄米餅の関係を見る

昨年、静岡県伊東市の直売所で購入した無農薬栽培の和紅茶から、放射線量が検出されました。このことは、小豆川先生曰く「注目に値するものを掘り当てた」のでした。その後、伊豆に行く度に、直売所を覗いては気になるものを購入し測定するようになりました。

春はお茶、秋と言えばお米です。新米の季節になり白米と米ぬかが手に入りました。測定結果は米ぬかから 35.8Bq/kg、白米から 1.55Bq/kg の放射性セシウムを観測しました。この値がどの程度のものかということで、小豆川先生曰く「先週、購入してきた福島県飯舘産のお米の4倍程度の放射性セシウムを伊東市のお米は含んでいます。」だそうです。また、先生はこの米ぬかでぬか漬けを行い、興味深い結果を分析しています。（前号掲載）

白米や米ぬかからこんなに出ているので、次は玄米で計りたくなります。ところが玄米は並んでいませんでした。代わりに玄米餅があったので購入して測定したところ 1.34Bq/kg でした。水分を入れて加工したのもこんなに出ているので玄米をナントしても計りたくなりました。玄米餅を作っている農家さんを訪ね、お願いしたところ玄米を譲ってもらうことが出来ました。その上、粳穀も頂くことが出来ました。そのときその農家さんから、丹精込めて有機栽培でお米や野菜作りをしている苦労話をうかがいました。国の基準値と比べたら問題にならない数値ではありますが、自分の中では福島農家さんの風評被害と重なり心が痛みました。

玄米の測定結果は 2.86Bq/kg、粳穀からは 6.44Bq/kg の放射性セシウムを観測しました。さらにこの玄米を精米した白米は 0.76Bq/kg でした。精米しても放射性セシウムがわずかに残っていました。比較のために、埼玉県の有機栽培米の粳穀を測定した結果、検出されませんでした。米が放射性物質を含んでいるときは粳穀にも同様に含まれていることがわかりました。

事故から 11 年以上が経過し日常を取り戻しつつありますが、環境中には、伊東市の例のように放射性物質が思わぬ所から見つかる事があります。137 セシウムの半減期は 30 年です。東日本で放射性物質の影響がなくなるのには、まだまだ時間がかかります。

試料名	産地	[Cs-137]Bq/kg	
		放射線量測定値	検出下限値
米ぬか	静岡県・2021年産	35.8	5.64
白米	静岡県・2021年産	1.55	0.85
玄米もち	静岡県・2021年産	1.34	0.82
玄米	静岡県・2021年産	2.86	1.00
粳穀	埼玉県・2021年産	ND	6.49
粳穀	静岡県・2021年産	6.44	4.71
白米	静岡県・2021年産	0.76	0.88

【8月7日(日) 小豆川勝見先生の学習会】

- テーマ「地域で放射線測定続ける意義について」
- 日時 8月7日(日) 13時20分から15時50分
- 場所 新所沢公民館 学習室1

このたび、「放射能から子どもを守る会・清瀬」と「とらぼ」の合同で、小豆川先生をお招きし学習会を行うことになりました。私たちは測定することの意義について問い直し、新たなスタートが出来る機会にしたいと考えています。せっかく先生がお話くださる貴重な機会ですので、ご興味のある方、大歓迎です。

「原発事故直後からずっと放射線量を測り続けているのだけど、このまま測り続けることってどうなの？」
「測定数値もほとんどいつも同じだし、そろそろ止めようかしら!!」
「いままで測ってきたデータの見方はどう見たら良いの？ まとめ方はどうしたら良いの？」
「この辺でもスポットがあるかもしれないので、スポットの見つけ方のポイントってあるの？」

こんな素朴な疑問に、小豆川先生は明快にお話くださると思います。
私たちは世界最大級の原発事故に遭遇し、11年が経過しました。
これからも見通しを持って測定していくための学習会にしていきたいと思います。

【「とらぼ」の出前講座、好評にて受付中】

去る4月12日、練馬保健生協環境委員会主催「放射線測定交流会」に招かれ zoom でお話しさせていただきました。

話した内容は、まず小豆川先生が帰還困難区域で防護服を身にまとい放射線測定の調査活動をしている映像を見ながら原発事故後の現状を知ってもらいました。この映像は、とらぼスタッフも zoom で現地調査に参加しています。その中でいくつかの質問をさせてもらい、先生が現地で質問に答えるという臨場感の伝わる映像になっています。

もう一つの話として、最近になって福島からだいぶ離れている伊東市というところでお茶や米から高い線量が検出されていることが分かり、まだまだ事故の影響がいろんな形で出ている例をはじめ、とらぼがスーパーなどから購入している食材で測定していることなどをお伝えしました。

あなたの地域でも「とらぼ」の出前講座はいかがですか。お気軽にお声かけください。

今回、参加された方から、次のような嬉しい感想を頂きました。

○報道では知らされていない福島の様子を知ることができ、原発の問題について改めて考えさせられました。多くの人に伝えていくことが大事だと思いました。

○とこらぼさんの活動はすごいと思いました。10年も過ぎてしまい、関心が薄れている中、まだまだ薄れさせてはいけない！！ことが本当によくわかる活動でした。

10年前なら色々な所で測定していたのが中止になってしまっている現状の中で、しいたけ・まいたけ・お茶の中に含まれていることを改めて被曝について、知ること・知らせることの大事さを痛感し、どう自分も活動していったらよいかと考えさせられました。

【とこらぼ会員の声】

富士見市の小林俊郎さんから投稿を頂きました。
有機農業の農家さんで、「とこらぼ」で堆肥・灰などを測って頂いています。

私は、富士見市で極小規模な有機農業をやっていて、直売所に出荷もしています。
2011年3月11日当時は、お隣の三芳町で借りていた畑で、今より大規模に有機農業をやっていました。強い揺れにブロッコリーがグラグラゆさぶられていたのを覚えています。

ニュースでは原発が爆発して関東にも放射性物質が飛んで来ていると伝えていましたが、政府の「ただちに健康に影響はない」という発言を信じてしまい、販売もつづけていました。ガソリンが手に入らなくて、自転車で直売所へ運んでいました。

「うちは、小さい孫がいるから、地元産の野菜はやめておく」と言われた事もありました。お茶は販売を禁止されていました。それでも私は販売をやめなかったのです。

本当にひどいことをしたと反省しています。8月になって、やっと畑の土、麦、野菜の放射線量を測定してもらいました。「たんぼぼ舎」と言う、チェルノブイリ原発の事故後、放射能の測定に現地まで行ったという方々です。

土からは63ベクレル、春にはまだ小さかった麦からは26ベクレルのセシウムが検出されました。ブロッコリーなどの、3.11当時出荷していた冬野菜を測定すれば、もっと高い値が出たに違いありません。その後夏野菜以降の野菜からは検出されませんでした。

「とこらぼ」のことを知ったのは、たしか2016年か2017年頃、新聞で映画上映会の案内を見たときです。それ以来、土、野菜、薪ストーブの灰の放射線量測定を、お願いしています。一日も早く、原発と核兵器の無い世界になる事を願っています。



「とこらぼ」では以下のような業務をお手伝いしてくれる方を随時募集しています

測定スタッフ//測定補助・受付手伝い//公園土壌調査プロジェクトスタッフ//公開測定メンバー
ご自宅やご自宅周辺でできる作業もありますので、ご興味のある方はぜひお問い合わせください。

メール：tokolabo2013@gmail.com 電話：080-6257-2306



「とこらぼ」メーリングリストに登録しませんか？

公開測定のご案内や結果速報、イベント情報を随時発信しています。

登録ご希望の方は、上記メールアドレスに「メーリングリスト登録希望」と書いてお送りください。